

第2次広島県廃棄物処理計画の減量化目標と現状について

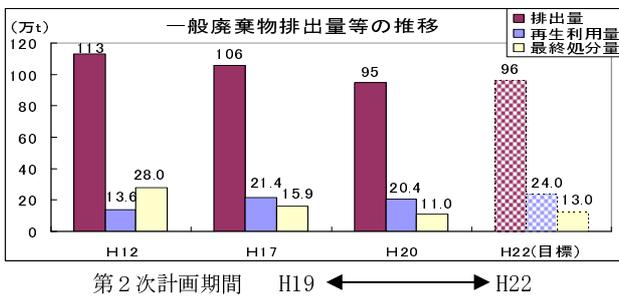
第2次計画では、平成22年度を目標年度として、一般廃棄物及び産業廃棄物の排出量、再生利用量及び最終処分量に係る減量化目標を定めている。平成20年度の実績を基にした達成状況の評価は次のとおり。

1 一般廃棄物

(減量化等の目標・実績)

(単位: 万 t)

区分	平成17年度実績		平成20年度実績		計画目標(平成22年度)	
	排出量	割合	排出量	計画目標比	排出量	平成17年度比
排出量	106.6	—	95.3	△0.7%	96.0	△9.9%
再生利用量	21.4	20.1%	20.4	△15.0%	24.0	+12.1%
最終処分量	15.9	14.9%	11.0	△15.4%	13.0	△18.2%



目標に対する進捗状況(平成20年度実績)

一般廃棄物	区分	進捗状況	評価
	排出量	↓	○
	再生利用量	↓	×
	最終処分量	↓	○

○排出量：ごみの有料化、住民の意識向上等に伴い、着実に減少。

○再生利用量：容器リサイクル法による取組の拡大や、新たな手法（焼却灰の原料化等）の導入などにより取組は進んでいるが、市町の回収統計量に反映されない別ルートでの資源化（集団回収、持ち去り行為等）により、目標達成には至らない見込み。

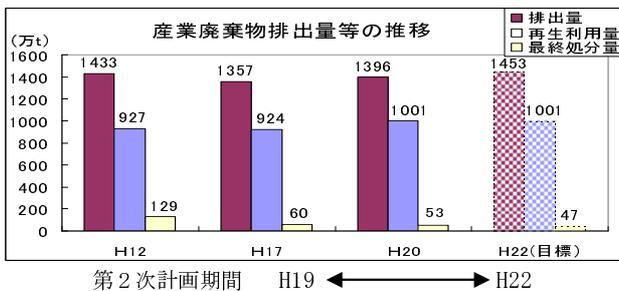
○最終処分量：排出量の減少や中間処理物の減量化などにより着実に減少。

2 産業廃棄物

(減量化等の目標・実績)

(単位: 万 t)

区分	平成17年度実績		平成20年度実績		計画目標(平成22年度)	
	排出量	割合	排出量	計画目標比	排出量	平成17年度比
排出量	1,357	—	1,396	△3.9%	1,453	+7.1%
再生利用量	924	68.1%	1,001	0.0%	1,001	+8.3%
最終処分量	60	4.4%	53	12.8%	47	△21.7%



目標に対する進捗状況(平成20年度実績)

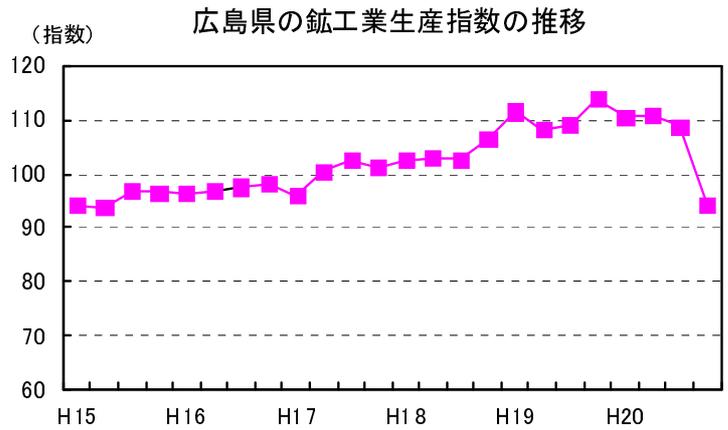
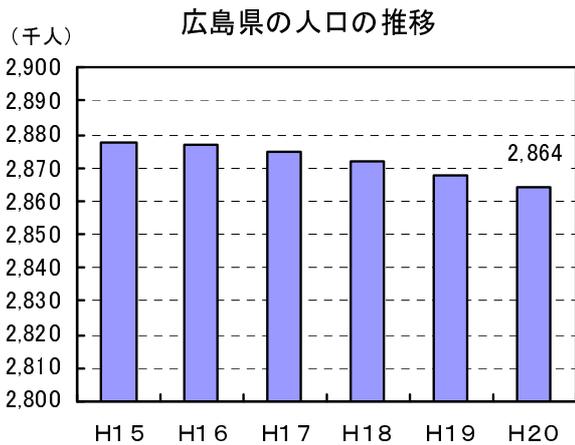
産業廃棄物	区分	進捗状況	評価
	排出量	↓	○
	再生利用量	↑	○
	最終処分量	↑	×

○排出量：平成18年度以降平成20年度前半の緩やかな景気回復により、排出量がわずかに増加した。

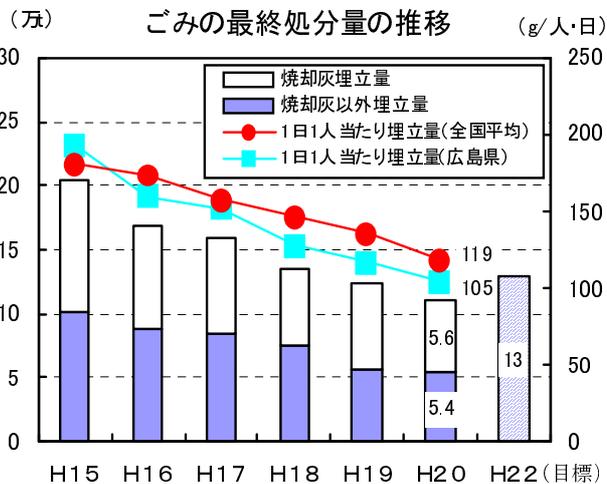
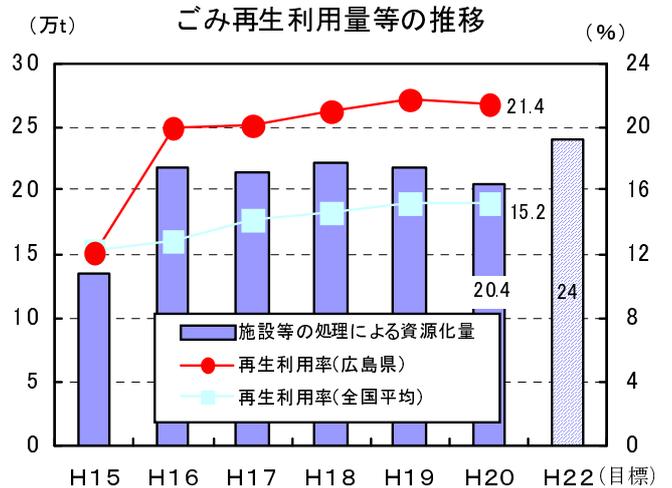
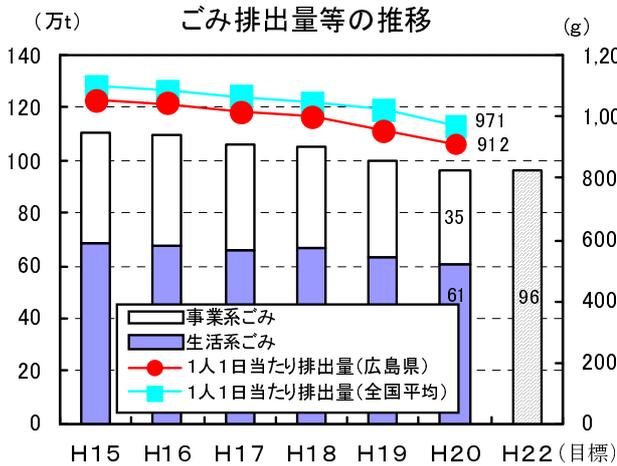
○再生利用量：主に鋳さい及びばいじんの再生利用が進み増加した。

○最終処分量：再生利用の増加により全体的に減少傾向にあるが、計画目標までの減少とはならなかった。

広島県勢の指標

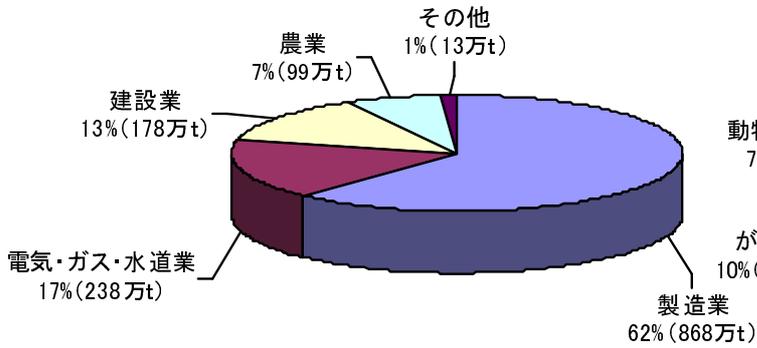


一般廃棄物

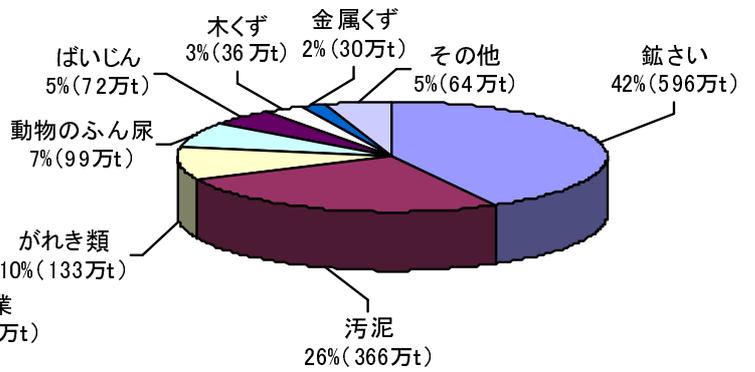


産業廃棄物

業種別排出量(平成20年度)

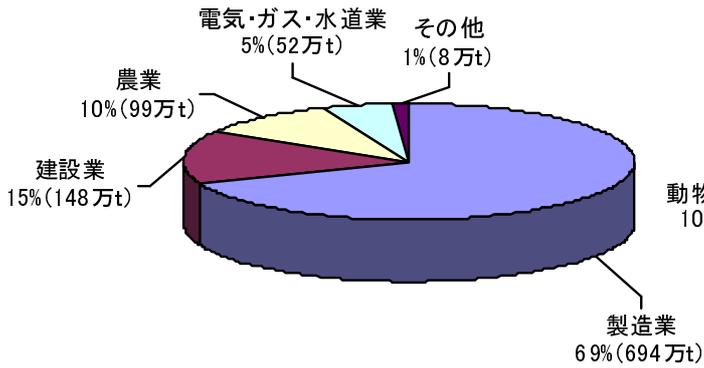


種類別排出量(平成20年度)

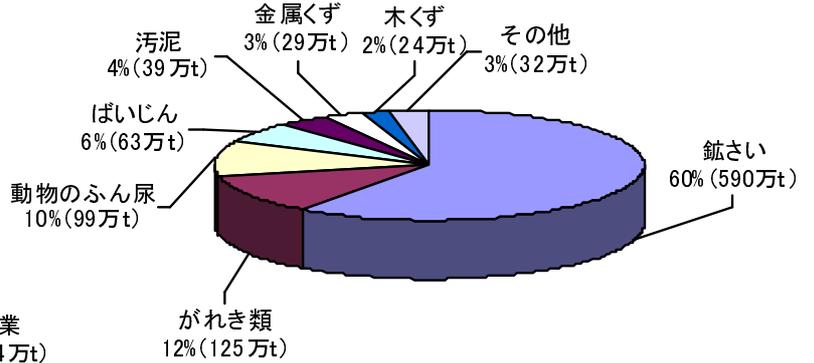


排出量: 1,396 万 t

業種別再生利用量(平成20年度)

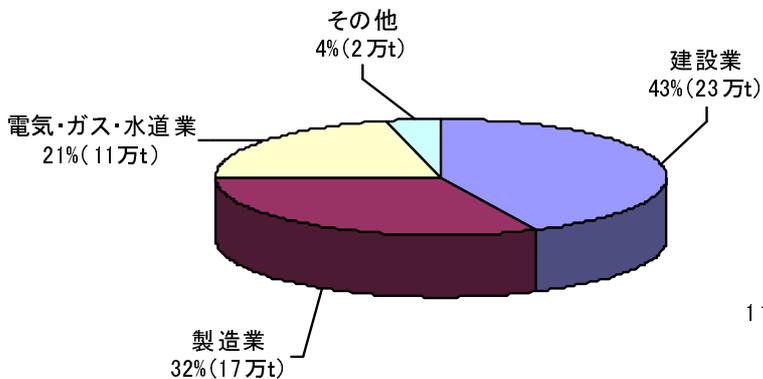


種類別再生利用量(平成20年度)

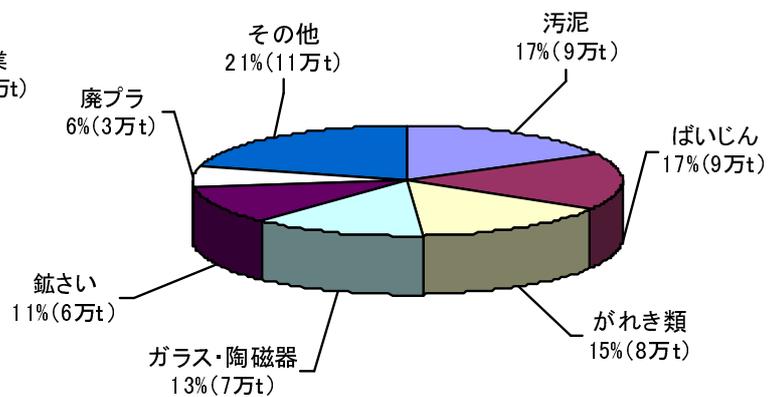


再生利用量: 1,001 万 t

業種別最終処分量(平成20年度)



種類別最終処分量(平成20年度)



最終処分量: 53 万 t

第2次広島県廃棄物処理計画の減量化目標と現状について（内容） 一般廃棄物

【減量化目標】

(単位：万t)

年度 区分	平成17年度実績		平成20年度実績		平成22年度計画目標		目標の達成の見込み
	排出量	排出量に占める割合	排出量	排出量に占める割合	排出量	排出量に占める割合	
排出量	106.6	—	95.3	—	96.0	—	既に達成
再生利用量	21.4	20.1%	20.4	21.4%	24.0	25.0%	未達成の見込み
最終処分量	15.9	14.9%	11.0	11.5%	13.0	13.5%	既に達成

○ 排出量

市町名	排出量(t)			人口(人)		
	17年度	20年度	対17年度比	17年度	20年度	対17年度比
全 県	1,066,228	953,091	89.4%	2,875,366	2,864,240	99.6%
広 島 市	416,379	375,964	90.3%	1,140,977	1,152,304	101.0%
呉 市	121,540	91,880	75.6%	254,126	247,125	97.2%
竹 原 市	10,749	10,601	98.6%	31,316	30,091	96.1%
三 原 市	39,598	38,138	96.3%	104,514	102,801	98.4%
尾 道 市	63,385	57,971	91.5%	153,796	150,167	97.6%
福 山 市	174,818	158,507	90.7%	462,844	464,100	100.3%
府 中 市	17,190	11,714	68.1%	46,502	44,920	96.6%
三 次 市	18,885	17,996	95.3%	60,470	58,828	97.3%
庄 原 市	10,199	10,327	101.3%	43,956	41,845	95.2%
大 竹 市	10,296	9,728	94.5%	30,299	29,567	97.6%
東 広 島 市	67,307	64,107	95.2%	175,488	177,931	101.4%
廿 日 市 市	40,560	35,696	88.0%	118,116	117,496	99.5%
安芸高田市	7,324	7,166	97.8%	33,801	32,634	96.5%
江 田 島 市	11,932	10,477	87.8%	30,561	28,467	93.1%
府 中 町	15,871	14,878	93.7%	50,402	51,170	101.5%
海 田 町	12,218	10,964	89.7%	28,484	28,012	98.3%
熊 野 町	7,505	7,438	99.1%	26,023	25,702	98.8%
坂 町	5,631	5,326	94.6%	12,615	13,348	105.8%
安芸太田町	2,165	1,918	88.6%	8,604	8,006	93.0%
北 広 島 町	4,767	4,622	97.0%	21,176	20,585	97.2%
大 崎 上 島 町	3,294	2,961	89.9%	9,477	8,942	94.4%
世 羅 町	2,855	3,093	108.3%	19,581	18,731	95.7%
神石高原町	1,760	1,588	90.2%	12,238	11,468	93.7%

○ 要因分析

要 因	取組を実施している主な市町等
経済的手法によるもの	
生活系ごみの指定袋・有料化	広島市 (H13:大型ごみ), 呉市 (H20:全市域で導入), 府中市 (H19), 東広島市 (H19), 安芸太田町 (H19), 北広島町 (H19), 大崎上島町 (H18)
事業系ごみの有料化	大崎上島町 (H20)
処理料金の引上げ	呉市 (H20), 竹原市 (H20), 福山市 (H19), 大竹市 (H20), 安芸太田町 (H20), 北広島町 (H20)
住民の意識向上によるもの	
手引き, 広報, マイバッグ運動等の実施	全市町
出前講座, 説明会, イベント等の開催	広島市 (H19~), 呉市 (H11~:出前講座, H19:説明会, イベント:H15~), 竹原市 (H18~H20), 三原市 (H18~), 尾道市 (H18~H20), 府中市 (H19), 東広島市 (H18~H20)
指導員の育成, 環境教育	呉市 (H10, H11), 尾道市 (H18~H20)
事業者によるもの	
事業系ごみの直接資源化(紙類等)	広島市 (H16~)
容器包装の軽量化の取組	例: ペットボトル 2L (57g→43g), 調味料びん 900mL (530g→305g)
市町の収集ルートから外れるもの	
家電及び資源リサイクル法によるもの	全市町
自治会など住民団体等による集団回収	広島市, 呉市, 尾道市, 福山市, 東広島市, 廿日市市
市民団体等による廃食用油の回収	広島市 (H20~)
その他	
生ごみ処理機への補助	呉市 (H13~H20), 竹原市 (H18~H20), 府中市 (H16~H20), 大竹市 (H19), 東広島市 (H18~H20), 廿日市市 (H18~H20)
ごみ置場からの資源持ち去り行為(市町の収集業者以外による)	広島市, 竹原市, 廿日市市, 江田島市, 府中町, 海田町
法規制によるもの	
野外焼却禁止, ダイオキシン規制の指導	世羅町
その他	
平成17年度に有料化を開始し, 一時的に減少したが, その後, 自然増となった	庄原市

○ 再生利用量

市町名	再生利用量(t)			再生利用率(%)		
	17年度	20年度	対17年度比	17年度	20年度	差⑳-⑰
全 県	213,868	203,746	95.3%	20.1	21.4	1.3
広島市	57,230	59,994	104.8%	13.7	16.0	2.3
呉 市	14,487	10,780	74.4%	11.9	11.7	▲ 0.2
竹原市	1,499	1,212	80.9%	13.9	11.4	▲ 2.5
三原市	2,848	2,994	105.1%	7.2	7.9	0.7
尾道市	12,147	11,068	91.1%	19.2	19.1	▲ 0.1
福山市	67,625	61,603	91.1%	38.7	38.9	0.2
府中市	7,084	5,799	81.9%	41.2	49.5	8.3
三次市	5,159	4,387	85.0%	27.3	24.4	▲ 2.9
庄原市	2,788	4,477	160.6%	27.3	43.4	16.1
大竹市	6,136	5,813	94.7%	59.6	59.8	0.2
東広島市	5,766	7,195	124.8%	8.6	11.2	2.6
廿日市市	17,207	15,258	88.7%	42.4	42.7	0.3
安芸高田市	1,526	1,551	101.6%	20.8	21.6	0.8
江田島市	766	547	71.4%	6.4	5.2	▲ 1.2
府中町	2,057	2,178	105.9%	13.0	14.6	1.6
海田町	2,310	1,500	64.9%	18.9	13.7	▲ 5.2
熊野町	1,813	1,575	86.9%	24.2	21.2	▲ 3.0
坂 町	1,135	1,088	95.9%	20.2	20.3	0.1
安芸太田町	413	422	102.2%	19.1	22.1	3.0
北広島町	1,032	1,020	98.8%	21.6	22.1	0.5
大崎上島町	91	696	764.8%	2.8	23.5	20.7
世羅町	1,730	1,666	96.3%	60.6	53.9	▲ 6.7
神石高原町	1,019	923	90.6%	57.9	58.1	0.2

○ 要因分析（再生利用率）

要 因	取組を実施している主な市町等
ごみ分別区分数の増加によるもの	
焼却処理又は独自処理ルートから 容リ協会ルートへ変更したことに伴う 資源ごみの収集品目の増加	東広島市 (H18), 安芸高田市 (H20), 安芸太田町 (H19)
リサイクル施設整備に伴う 資源ごみの収集品目の増加	三原市 (H18), 庄原市 (H17)
ごみ収集品目の増加（紙類を焼却処理 から資源回収品目に変更）	庄原市 (H18)
新たな手法によるもの	
粗大ごみの資源化	庄原市 (H18), 安芸高田市 (H20), 北広島町 (H20), 大崎上島町 (H18)
直接埋立量の減量	府中市
焼却灰・飛灰のセメント原料化	広島市, 庄原市, 安芸高田市, 北広島町 (H18~H20)
焼却灰の熔融スラグ化	広島市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町 (H18~H20)
焼却灰・飛灰の山元還元	広島市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町 (H18~H20)
住民の意識向上によるもの	
手引き, 広報等による分別排出の徹底	三原市 (H18), 庄原市 (H18), 東広島市 (H18~H20), 安芸高田市 (H20), 坂町 (H18~H20), 大崎上島町 (H18)
事業者によるもの	
事業系ごみの資源化の推進	広島市 (H16~), 大崎上島町 (H20)
削減要因	
自治会など住民団体等による集団回収	呉市, 竹原市, 尾道市, 世羅町
ごみ置き場からの持ち去り行為 (市町の収集業者以外による)	竹原市, 三次市, 江田島市, 海田町, 熊野町, 世羅町
店頭回収の促進	竹原市 (H20), 世羅町 (H20)
【計画目標が未達成の要因】 上記のとおり, 市町の回収統計量に反映されない別ルートで資源化	

○ 最終処分量

市町名	最終処分量(t)			最終処分率(%)		
	17年度	20年度	対17年度比	17年度	20年度	差⑳-㉑
全 県	159,133	109,709	68.9%	14.9	11.5%	▲3.4%
広 島 市	67,283	44,771	66.5%	16.2	11.9%	▲4.3%
呉 市	21,885	11,430	52.2%	18.0	12.4%	▲5.6%
竹 原 市	2,177	1,830	84.1%	20.3	17.3%	▲3.0%
三 原 市	5,594	5,879	105.1%	14.1	15.4%	1.3%
尾 道 市	9,762	8,143	83.4%	15.4	14.0%	▲1.4%
福 山 市	21,035	16,163	76.8%	12.0	10.2%	▲1.8%
府 中 市	5,184	1,480	28.5%	30.2	12.6%	▲17.5%
三 次 市	2,169	2,188	100.9%	11.5	12.2%	0.7%
庄 原 市	256	239	93.4%	2.5	2.3%	▲0.2%
大 竹 市	225	235	104.4%	2.2	2.4%	0.2%
東広島市	13,713	10,085	73.5%	20.4	15.7%	▲4.6%
廿日市市	2,666	2,662	99.8%	6.6	7.5%	0.9%
安芸高田市	209	55	26.3%	2.9	0.8%	▲2.1%
江田島市	3,090	2,319	75.0%	25.9	22.1%	▲3.8%
府 中 町	1,242	827	66.6%	7.8	5.6%	▲2.3%
海 田 町	773	301	38.9%	6.3	2.7%	▲3.6%
熊 野 町	411	300	73.0%	5.5	4.0%	▲1.4%
坂 町	382	209	54.7%	6.8	3.9%	▲2.9%
安芸太田町	314	106	33.8%	14.5	5.5%	▲9.0%
北広島町	180	71	39.4%	3.8	1.5%	▲2.2%
大崎上島町	570	263	46.1%	17.3	8.9%	▲8.4%
世 羅 町	7	92	1314.3%	0.2	3.0%	2.7%
神石高原町	6	61	1016.7%	0.3	3.8%	3.5%

○ 要因分析

要 因	取組を実施している主な市町等
収集区分を変更 (可燃又は不燃ごみの一部(紙類, プラ類等)を資源ごみに変更)	福山市 (H19) 東広島市 (H18), 安芸高田市 (H20), 安芸太田町 (H19), 北広島町 (H19, 20)
粗大ごみの資源化	庄原市 (H18), 安芸高田市 (H20), 北広島町 (H20), 大崎上島町 (H18)
焼却灰の減少	
焼却灰・飛灰のセメント原料化	広島市, 庄原市, 安芸高田市, 北広島町 (H18~H20)
焼却灰の溶融スラグ化	広島市, 呉市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町 (H18~H20)
焼却灰・飛灰の山元還元	広島市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町 (H18~H20)
事業系ごみの分別排出の徹底	江田島市 (H20), 大崎上島町 (H18)
その他	
廃棄物の直接埋立受入停止	呉市 (H19)
ごみ排出量の減少によるもの	呉市, 竹原市, 尾道市, 福山市, 府中市, 廿日市市, 坂町
ごみ処理残渣量の増加	三原市, 三次市 (H19, 20)
びん(その他)の処理方法の変更 (業者委託から町施設で処理(破碎, 埋立))	神石高原町 (H18)
都市再開発による引越しごみの増加	大竹市 (H20)
集計方法の変更	世羅町

第2次広島県廃棄物処理計画の減量化目標と現状について (内容)

産業廃棄物

資料3-2

【減量化目標】

(単位: 万t)

年 度 区 分	平成17年度実績		平成20年度実績			平成22年度計画目標		目標の達成の見込み〔平成22年度予測値〕
	排出量	排出量に占める割合	排出量	排出量に占める割合	計画目標比	排出量	排出量に占める割合	
排 出 量	1,357		1,396		▲3.9%	1,453		達成の見込み〔1,412〕
再生利用量	924	68.1%	1,001	71.7%	0.0%	1,001	68.9%	達成の見込み〔1,005〕
最終処分量	60	4.4%	53	3.8%	12.8%	47	3.2%	未達成の見込み〔52〕

○ 排出量

(種類別)

(単位: 万 t)

区 分	17年度	20年度	差⑳-⑰	対17年度比
鋳さい	558	596	38	106.8%
汚 泥	358	366	8	102.2%
がれき類	144	133	▲ 11	92.4%
動物のふん尿	104	99	▲ 5	95.2%
ばいじん	63	72	9	114.3%
木くず	42	36	▲ 6	85.7%
金属くず	31	30	▲ 1	96.8%
その他	57	64	7	112.3%
合 計	1,357	1,396	39	102.9%

(業種別)

(単位: 万 t)

区 分	17年度	20年度	差⑳-⑰	対17年度比
製造業	830	868	38	104.6%
電気・ガス・水道	222	238	16	107.2%
建設業	182	178	▲ 4	97.8%
農 業	104	99	▲ 5	95.2%
その他	19	13	▲ 6	68.4%
合 計	1,357	1,396	39	102.9%

○ 要因分析

要 因
<p>【増加要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋳さい：鉄鋼業の生産量の増加 ・汚 泥：鉄鋼業の生産量の増加，下水道普及率の向上 ・ばいじん：鉄鋼業の生産量の増加，電力需要の増加 <p>【減少要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がれき類：建設工事の減少 ・動物のふん尿：飼育頭羽数の減少 ・木くず：製材業の生産量の減少

○ 再生利用量

(種類別)

区分	再生利用量(万t)			再生利用率(%)		
	17年度	20年度	対17年度比	17年度	20年度	差⑳-⑰
鉱さい	528	590	111.7%	94.6	99.0	4.4
がれき類	129	125	96.9%	89.6	94.0	4.4
動物のふん尿	104	99	95.2%	100.0	100.0	0.0
ばいじん	50	63	126.0%	79.4	87.5	8.1
汚泥	33	39	118.2%	9.2	10.7	1.5
金属くず	30	29	96.7%	96.8	96.7	▲ 0.1
木くず	26	24	92.3%	61.9	66.7	4.8
その他	24	32	133.3%	42.1	50.0	7.9
合計	924	1,001	108.3%	68.1	71.7	3.6

(業種別)

区分	再生利用量(万t)			再生利用率(%)		
	17年度	20年度	対17年度比	17年度	20年度	差⑳-⑰
製造業	623	694	111.4%	75.5	80.0	4.5
建設業	148	148	100.0%	81.3	83.1	1.8
農業	104	99	95.2%	100.0	100.0	0.0
電気・ガス・水道	43	52	120.9%	19.4	21.8	2.4
その他	6	8	133.3%	10.5	61.5	51.0
合計	924	1,001	108.3%	68.1	71.7	3.6

○ 最終処分量

(種類別)

区分	最終処分量(万t)			最終処分率(%)		
	17年度	20年度	対17年度比	17年度	20年度	差⑳-⑰
ばいじん	14	9	64.3%	23.3	12.5	▲ 10.8
がれき類	12	8	66.7%	8.6	6.0	▲ 2.6
汚泥	10	9	90.0%	2.8	2.5	▲ 0.3
廃プラ	7	3	42.9%	40.5	20.0	▲ 20.5
ガラス・陶磁器	7	7	100.0%	77.8	70.0	▲ 7.8
鉱さい	4	6	150.0%	0.7	1.0	0.3
その他	6	11	183.3%	2.4	5.4	3.0
合計	60	53	88.3%	4.3	3.8	▲ 0.5

(業種別)

区分	最終処分量(万t)			最終処分率(%)		
	17年度	20年度	対17年度比	17年度	20年度	差⑳-⑰
製造業	21	17	81.0%	2.5	2.0	▲ 0.5
建設業	25	23	92.0%	13.6	13.0	▲ 0.6
電気・ガス・水道	12	11	91.7%	5.5	4.4	▲ 1.1
鉱業	1	0	0.0%	4.5	0.3	▲ 4.2
その他	1	2	200.0%	23.8	22.9	▲ 0.9
合計	60	53	88.3%	4.3	3.8	▲ 0.5

○ 要因分析

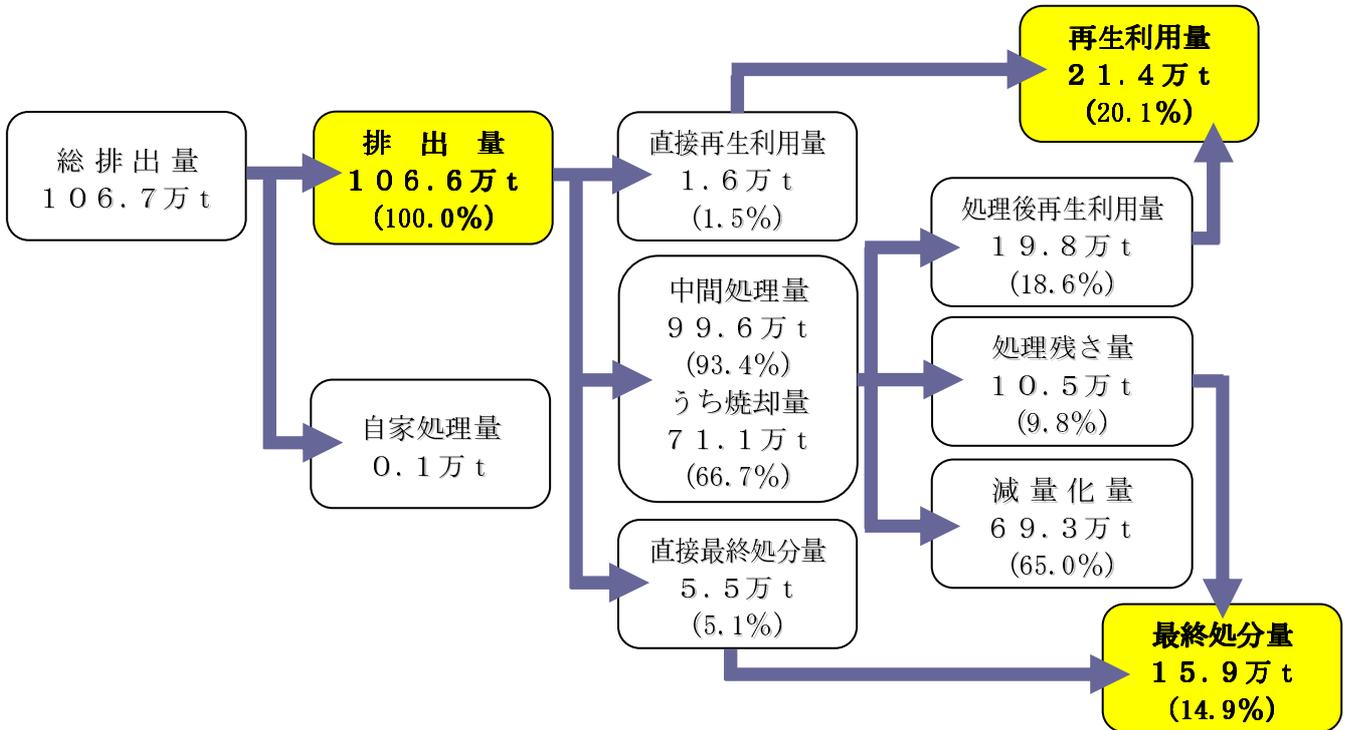
要	因
再生利用量	
【増加要因】	・ 鉱さい, ばいじん, 汚泥のセメント原料化
【減少要因】	・ がれき類, 動物のふん尿, 木くずの排出量の減少
再生利用率	
【増加要因】	・ 鉱さい, ばいじん, 汚泥のセメント原料化
【減少要因】	・ がれき類の資源化

○ 要因分析

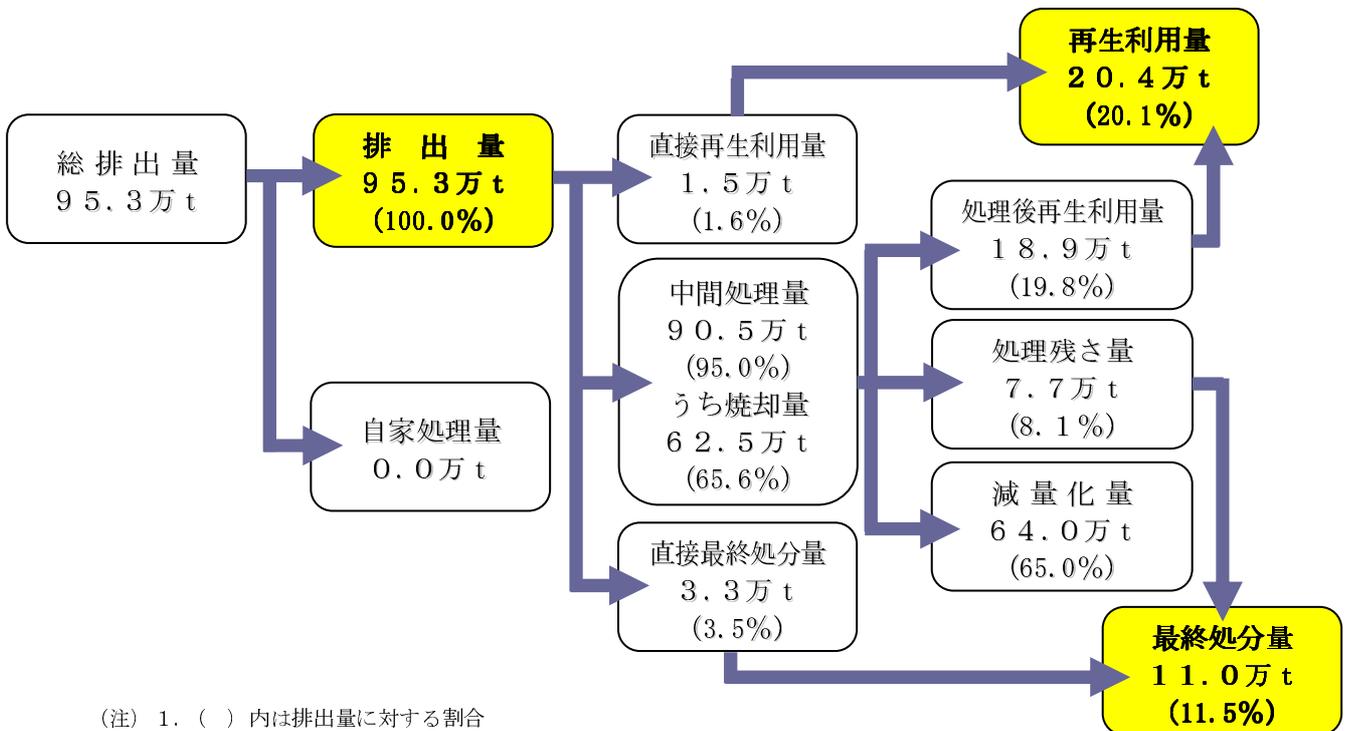
要	因
最終処分量	
【減少要因】	・ ばいじんのセメント原料化 ・ 廃プラの燃料化及びセメント原料化 ・ がれき類の排出量の減少
【増加要因】	・ 鉱さい: 鉄鋼業の生産量の増加
最終処分率	
【減少要因】	・ ばいじんのセメント原料化 ・ 廃プラの燃料化及びセメント原料化

一般廃棄物の処理の流れ

(平成17年度)



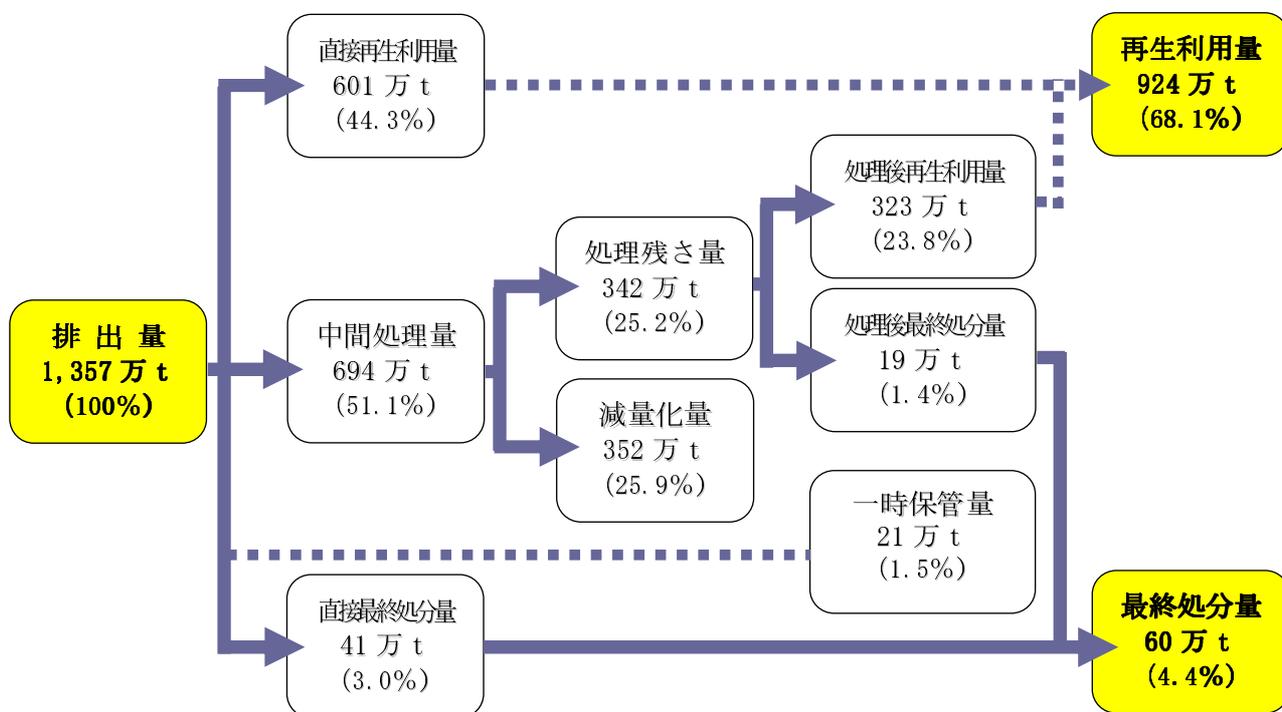
(平成20年度)



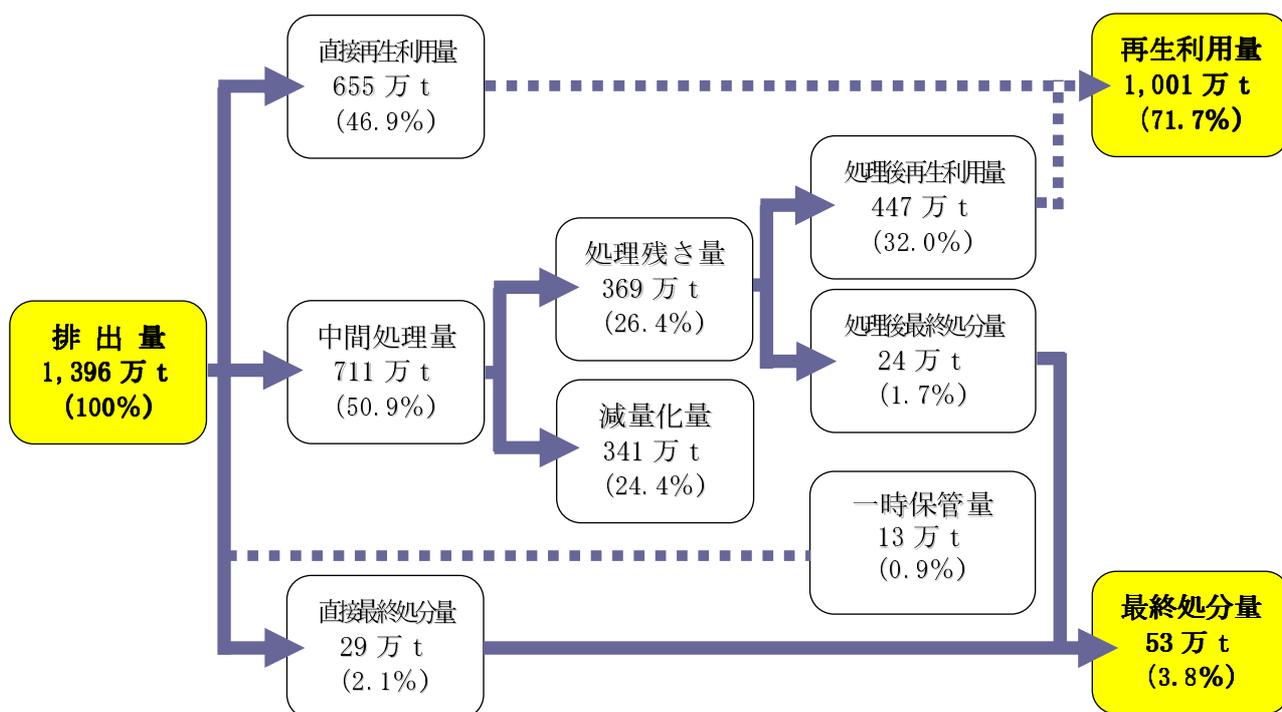
- (注) 1. () 内は排出量に対する割合
 2. 減量化量は排出量から再生利用量及び最終処分量を除いた量で、焼却、脱水などによる減量に相当する量

産業廃棄物の処理の流れ

(平成17年度)



(平成20年度)



(注) () 内は排出量に対する割合